

第7回富山公開シンポジウム 二十世紀のジャポニスム — その波及と変容 —

ジャポニスムは、その顕著な表れとされる仏英絵画などでは二十世紀初頭までにおおむね下火になったが、服飾・文学・音楽など絵画以外のジャンルでは第二次世界大戦近くまで豊かな成果を生み続けた。また北・南・東欧などの地域では、西欧よりも遅れてブームになった。このようにジャポニスムは、地域的には中心としての西欧から他の地域に波及し、分野としても変容したと考えられる。本シンポジウムでは、ジャポニスムの周縁の問題として捉えられてきた二十世紀の動きに焦点を当て、同時にジャポニスムの定義をも再検討したい。

日時 2017年 11月25日(土) 13時30分～17時 受付13時
11月26日(日) 10時～17時

会場 帝京大学霞ヶ関キャンパス
(平河町森タワー9階) [入場無料]

主催 ジャポニスム学会
共催 公益財団法人 荏原 富山記念文化財団
協力 帝京大学

使用言語 日本語、英語
定員 見学会 30名 シンポジウム 各日82名

第7回畠山公開シンポジウム 20世紀のジャポニスム ―その波及と変容―

プログラム 2017年11月25日(土)

◆見学会

「20世紀工芸・建築：モダニズム VS ジャポニスム」

10:00-12:00

JR目黒駅西口集合～徒歩にて移動

久米美術館～

上大崎新興住宅地～東京都庭園美術館

解説： 樋田豊次郎(東京都庭園美術館館長)

ナビゲーター： 岡部昌幸(帝京大学教授、群馬県立近代美術館館長)

◆シンポジウム 13:00 受付開始

会場：帝京大学霞ヶ関キャンパス 教室4・5(平河町森タワー9階)

ごあいさつ

13:30～13:40

馬淵明子(ジャポニスム学会会長、国立西洋美術館館長)

長田憲幸(公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団常務理事)

【セッション1 問題提起】

13:40～14:20

渡辺俊夫(ロンドン芸術大学、東アングリア大学教授)

「20世紀のジャポニスム 1920年代から1960年代まで」

14:25～15:05

宮崎克己(昭和音楽大学教授)

「ジャポニスムの「終息」とそれ以降～その再定義を踏まえて」

【セッション2 イギリス、ドイツ、イタリアにおける変遷 20世紀初頭から大戦間へ】

15:20～15:50

Claudia Delank(講師、極東美術専門家)

"The Painters of the Blaue Reiter and Japanese Art -
Towards Defining a New Step of Japonisme in the 20th
Century"

15:55～16:25

板橋美也(法政大学准教授)

「第二次世界大戦前イギリスの木版画リバイバルにおける漆原木虫」

16:30～17:00

石井元章(大阪芸術大学教授)

「大戦間時代の日本とイタリア」

◆学会賞授賞式およびレセプション

会場：帝京大学霞ヶ関キャンパス ラウンジ

17:15～19:15

学会賞授賞式、懇親会

2017年11月26日(日)

【セッション3 ロシアおよびハプスブルク支配下の国々における 受容】

10:00～10:30

福間加容(千葉大学特別研究員)

「帝政末期のロシア美術におけるジャポニスムの受容」

10:35～11:05

Bart Pushaw(メリーランド大学大学院美術史学学位取得希望者)

"The Japanese Roots of Baltic Modernism"

11:10～11:40

Helena Čapková(早稲田大学助教)

"From Decorative Arts to Impressive Local Constructions
and Materials - on New Japonisme for Czechoslovak
Republic (1918-1938)"

11:45～12:15

Mirjam Dénes(ホップ・フェレンツ東洋美術館アシスタント・
キュレーター)

"Interlocking Waves of Japonisme - Hungary between
Fin de Siècle Art and Modernism"

昼休憩

【セッション4 音楽、ファッション】

13:30～14:00

鶴園紫磯子(ピアニスト、桐朋学園大学講師)

「20世紀前半のモダニズムとジャポニスムについて―
ストラヴィンスキーとメシアンを中心とした考察」

14:05～14:35

深井晃子(京都服飾文化研究財団理事、名誉キュレーター)

「写実から抽象へーヴィオネと日本」

コーヒー・ブレイク

【ディスカッション】

15:00～17:00 討論

司会： 石井元章 大阪芸術大学教授

パネリスト：岡部昌幸 帝京大学教授、群馬県立近代美術館館長

高木陽子 文化学園大学教授

橋本順光 大阪大学准教授

宮崎克己 昭和音楽大学教授

渡辺俊夫 ロンドン芸術大学、東アングリア大学教授

17:00 閉会

【参加申込方法】

11月25日(土)午前の見学会(定員30名)、11月25日午後、
26日午前・午後のシンポジウム(定員各日82名)
見学会、シンポジウムともに参加費無料

参加希望者は下記の要領で事前申込をお願いします。
ジャポニスム学会宛に、メール(japonisme@world-meeting.co.jp)
またはFax(03-3341-1830)で、下記①～⑤をご記載のうえ
お申込みください。

- ①参加プログラム名 (A)11月25日午前見学会
(B)11月25日午後シンポジウム
(C)11月26日シンポジウム

- ②お名前
- ③会員/一般の区別
- ④メールアドレスまたはFax番号
- ⑤見学会参加希望者は緊急連絡先(携帯電話番号など)

先着順に参加証をお送りいたします。定員に達し次第締め切らせて
いただきます。受付状況は学会ホームページでご確認ください。
お送りいただいた個人情報については、このシンポジウムの
事務連絡のみに使用します。

お申込み・お問合せ

ジャポニスム学会

e-mail: japonisme@world-meeting.co.jp

Fax: 03-3341-1830

申込期間： **2017年10月29日～11月17日**

ジャポニスム学会HP: <https://japonisme-studies.jp/>

会場のご案内

帝京大学 霞ヶ関キャンパス(平河町森タワー9階)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1

東京メトロ有楽町線、半蔵門線、南北線「永田町駅」4番出口より
徒歩約1分

東京メトロ銀座線、丸ノ内線 「赤坂見附駅」7番出口より徒歩約6分
アクセス案内

<https://www.teikyo-u.ac.jp/access/kasumigaseki.html>